

2学期が始まりました

長かった夏休みも終わり、8月26日(水)から2学期が始まりました。休み中、心配した水難事故や大きな交通事故に巻き込まれることなく子どもたち全員が元気に過ごせたことを心から喜びたいと思います。

始業式では児童代表2名が「夏休みの思い出と2学期に頑張りたいこと」というテーマで話をしました。

1年生児童は、夏休みの宿題を一生懸命したこと、児童館に泊まり楽しかったことを話してくれました。5年生児童は、1学期の復習をしっかりしたこと、熱海に行きサボテン公園に行ったことが楽しい思い出になったようです。

夏休みは普段はなかなか行くことの出来ない親戚や国内外の観光地を訪ねる機会があります。このことは子どもたちにとって自分の世界を広げる大きな機会となったことでしょう。親戚を訪ねた時には、祖父母や伯父(叔父)・伯母(叔母)、従兄弟・従姉妹(いとこ)との出会い、一緒に遊んだ楽しい日々、そして別れの悲しみを味わいます。そのような経験を積むことで人間として成長していくのでしょうか。

また、家族旅行の思い出は一生の宝物になります。訪れた場所での体験、美しい景色や旅館やホテルでの食事の一時なども懐かしい思い出になります。

遠出はしなかった子どもたちも、それぞれ充実した楽しい夏休みを過ごしたことでしょう。今年の夏は天候不順なため、学校のプールも昨年に比べ利用者は少なかったようですが、それでも天気に恵まれた日は50名を超える子どもたちがつめかけ賑わっていました。プール当番に協力して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。

子どもたちにとって楽しく思い出一杯の夏休みも終わりました。この思い出をエネルギーに、更に充実した2学期になることを願っています。

早朝作業ありがとうございました

夏休み最後の土曜日、8月22日には「親子ふれあい早朝作業」が行われました。前日の夜に雨が降り実施が心配されましたが、当日の朝は曇り空で野外作業には恵まれた天候でした。本校は耕地面積が広く、その上舗装されていない緑地が多いことから雑草対策に頭を悩ませます。職員も除草作業に精力的に取り組んでいるのですが、限られた人数のため思うに任せません。年に一度、保護者の皆様の協力を得て行う除草作業は大変ありがたいものです。また、当日は、北小保護者OBの方々からなる「おやじの会」の皆様が側溝の泥上げの力仕事をして下さいました。おかげで学校全体が見違えるようにきれいになりました。ありがとうございました。

側溝の泥上げ作業



中庭での作業



図書館東での作業



この夏、どんな思い出がありますか

大人になると、子どもの頃のような鮮明な記憶や感動が乏しくなります。ですから、「この夏の思い出は」と問われても、直ぐには思いつかないものです。この原因のひとつに大人になると多忙さにより、1つの感動が心に長く留まっていることが少なくなるからだとされます。そんな中、テレビを見ていて、「これはいいな」という番組に出会いました。保護者の皆さんもご覧になった方がおいでになるかと思いますが紹介します。

そのテレビ番組は、8月17日(月)に放映されたYBSテレビの「一分間の深イイ話」です。2009年上半期総集編ということで、これまで放映された番組の中でどれが一番良かったか、出演者が採点します。10名の出演者がそれぞれ10点の持ち点で採点するので最高点は100点になります。

その中で、百点満点に選ばれたのは武田鉄矢さんが出演した番組です。元(もと)の番組は若者とタレントが語り合う内容だそうです。その中で武田鉄矢さんが次のように言います。武田さんのせりふを○で示します。(記憶違いの面もありますが)

・どんな汚い方法で得たお金でもお金はお金、と言う若者に次のように言いました。

○そんな金うれしいか。

・お金はお金だから、と若者。

○寂しい考えだな。

○これからずっと生きていくんだ。

○そんな自分を励ましてくれるのは過去の自分だけだよ。

○みんなは金を選んだが、俺は友情を大事にした。

○みんなは周りに流されたが、俺は自分で考えて行動した。

○それが30代、40代になった自分を励ましてくれる。

○人は、10代の間にかっこいいことを1つでもやっておくといい。

○そのかっこいい自分が自分の横に居て、ずっと自分を励ましてくれる。

武田鉄矢さんは以前、テレビ番組、金八先生の先生役で一世を風靡し、その熱血の演技が好評を博しました。また、本人も教育学部卒なので教育に対する造詣も深く、武田鉄矢さんのことばに私も感心させられることがあります。

○自分を支えるのは、努力した過去の自分だ。

話は変わりますが、今年の夏、有名な女優が麻薬に手を出し、これまで築き上げてきた名声を全て失う事件がありました。クスリは面白そうだから、周りもやっているようだから、という軽い気持で違法な麻薬などに手を出し全てを失う。そのような浅はかな芸能人がいる反面、武田さんのような確たる信念を持った方もいるかと思うと心強く感じます。

ただ、このような外ではカリスマ性を持つ武田さんですが、家庭ではまったく様子が違うそうです。例の調子で家で何か教訓的なことを言いはじめると、娘さんが、「そらまた、お父さんのいつもの悪い癖が始まった。」

と言って、周りから家族がさっと去っていくのだそうです。その様子を笑いながら面白おかしく話していた武田鉄矢さんの姿を見て、人間としての度量の大きさに私自身一層親近感を持ちました。

テレビ番組から心に残ったお話を紹介してみました。